

各委員からの意見 まとめ

基本方針	基本方針1				基本方針2			基本方針3				
施策の区分	1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5
個別施策	ごみ別の減量・資源化の促進	地域資源化の促進	食品ロスの削減	SDGsの理解促進と行動変革	事業系ごみの減量化・資源化の促進	指導の徹底	事業者への支援体制の充実	長期展望に基づく収集・処理システムの検討	高齢社会に対応した環境整備	指定袋制度及びごみ処理の有料化の検討	きれいなまちづくりの推進	災害廃棄物等処理体制の強化
施策名: 4Rに関する普及啓発活動の実施	○											
施策名: 私たちにできること 使うものを選ぶことでCO2を削減できること、ごみの分別をしっかりとすること	○											
施策名: ごみ処理にかかる費用総額を明示して(どれだけ多額の税金が使われているか)ごみ減量について啓発する。	○											
施策名: 出前講座 自治会や小グループでの楽しみながら資源化について勉強できる出前講座		○										
施策名: 各家庭の食品の購入の仕方を工夫する。			○									
施策名: SDGsの理解と促進の啓発				○								
施策名: 事業系ごみの種別分析による減量化					○							
施策名: 事業系ごみの減量化・資源化への徹底 ①定期的な搬入物検査実施 ②卸売・小売業向けの減量化資源化マニュアル作成					○							
施策名: 事業者が自分の排出するごみ量を把握しているなら、減量の目標値を設定してもらい、達成事業者を表彰する。					○							
施策名: オフィス古紙や機密文書の未利用古紙の資源化促進 事業系ごみのうち、リサイクル可能なオフィス古紙、機密文書の未利用古紙の資源化を促進し、事業系ごみの減量化を図る。					○							
施策名: 飲食店に行く時、テイクアウトの際、マイ容器を持参する。 協力店には何らかの支援をする。(現在、岡山県真庭市実施しているとのこと)							○					

越谷市一般廃棄物処理基本計画に係る個別施策の検討について 資料2

施策名: 新たな資源可能物の検討									○				
施策名: 廃棄プラスチックのリサイクル研究促進									○				
施策名: お助け隊 行く末はわが身、できるときに助け、行く先自分ができなくなった時は助けてもらえる仕組み(例: チケット制など)									○				
施策名: 高齢化社会に向けた方策 自治会に協力を依頼し、将来に向けた様々な問題を解決しながら、よりよい方策を構築すべきである。									○				
施策名: 一人暮らしの高齢者はごみ出しのみでなく、ごみ分別も困難かもしれないので、ボランティア制度を導入する									○				
施策名: ごみと資源物の分別の強化 ごみ処理の有料化により、資源化が可能なペットや紙類の分別を強化し、ごみの減量化を促進する。										○			
施策名: 不明 * レジ袋有料化でレジかご持ち帰りやポリ袋の大量持ち帰りなど思わぬ事態が報道されていることを考えると有料化ができるのか、有料化でごみが減るかと考えてしまう。										○			
施策名: 散乱ごみ、不法投棄場所の発見と特定											○		
施策名: ごみ減量マイチャレンジ ごみ減量に対する意識を持つために無駄な買い物やプラスチック容器のものは買わない努力をしたなど記録していく。	○		○										
施策名: 分別区分の見直し ごみの減量化に向けて、分別区分の見直すことで、排出段階での減量化を進める。ただ、収集後の処理。資源化の手法についても見直しが必要になります。	○	○	○	○						○			
施策名: 収集・処理の中長期の方向を検討する。 今後の廃棄処理の在り方は、従来の処理・処分から資源化に向かっている。そこで、ごみの種別と再資源化の方法を見直す。キーワードは、高齢化社会、CO2削減と資源の有効活用、仕組み全体のコスト提言など。	○	○	○			○				○	○	○	
施策名: 事業系ごみの資源化 ・事業所訪問による資源化徹底依頼 ・東埼玉資源環境組合と連携した定期的な搬入物検査の実施	○	○		○	○	○	○						
施策名: 資源品の徹底分別 ・可燃ごみに含まれている資源品の見える化と新たな広報 ・地域のリサイクル事業者への働きかけ	○	○		○	○	○							

<p>施策名:キャップリサイクル</p> <p>県で来年度実施するかもしれませんが、資源循環の啓発、環境教育の一環として、学校等でキャップを回収、資源化、製品化(小学校で使用する物、例えば植木鉢等)を行う。できれば、すべて地域内または県内で実施する。</p>	○	○		○								
<p>施策名:ごみを計ろう</p> <p>川越市が実施しているエコチャレンジファミリー「可燃ごみのダイエットコース」同様な視点。家庭または、事業者がどのくらいの量を出しているのか、まずは把握してもらうことから始める。事業者は、量と質を把握する。</p>	○		△		○	○						
<p>施策名:任せなさい。処理困難物として明確に依頼先を示していない品目を少なくする。 地域内に一般廃棄物処理業の許可業者を！</p> <p>処理困難物は、販売店、製造メーカー、専門の処理業者等に処分を依頼してくださいとHPで案内しているが、コンクリート、畳、土・砂利等は市内、または、広域内にある産廃の中間処理業者で取り扱うことができるため、一廃の処分の許可を与え、HP等に明示する。</p>	○	○										◎
<p>施策名:ごみ減量化のためのリーダー育成</p>		○		○				○		○		
<p>施策名:使用済み紙おむつのリサイクル企業誘致(ユニチャーム)</p> <p>事業系可燃ごみの中には老人福祉施設等から排出される使用済み紙おむつがかなり含まれている。ユニチャームは事業化を目指しているので、地元企業と共同！関東初を目指す。</p>		△		○	○	△	○	○	○		△	
<p>施策名:食品ロス削減キャンペーン</p> <p>小売店や飲食店と連携した普及啓発</p>			○	○	○		○					
<p>施策名:事業系廃棄物の処理・資源化マニュアルの作成・普及と情報共有。</p> <p>事業者の取組みを進めるために、マニュアルの作成・普及を図り、進捗のために情報共有・実行のためのプラットフォームの設置</p>				○	○	○	○					
<p>施策名:多量排出事業者制度の制定</p> <p>月一定量以上のごみを市の処理施設に搬入している事業者を対象に、減量・資源化計画書作成、提出等を義務付ける。排出するごみの量と質を把握し、新たな資源化へつなげる。</p>					○	○	○					
<p>施策名:事業系ごみの資源化</p> <p>・卸売・小売業向けの減量化・資源化マニュアルの作成の推進</p>					○	○	○					
<p>施策名:officeペーパーリサイクルの拡充</p> <p>小規模事業所も参加できる柔軟な仕組みづくり</p>					○	○	○					
<p>施策名:ちょっと待って！</p> <p>紙類の焼却場搬入をストップできるチェック体制とそれに伴う事業者支援</p>					○	○	○					